

《 卷 末 資 料 》

ボーリング柱状図

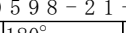
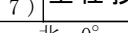
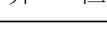
ボーリング柱状図

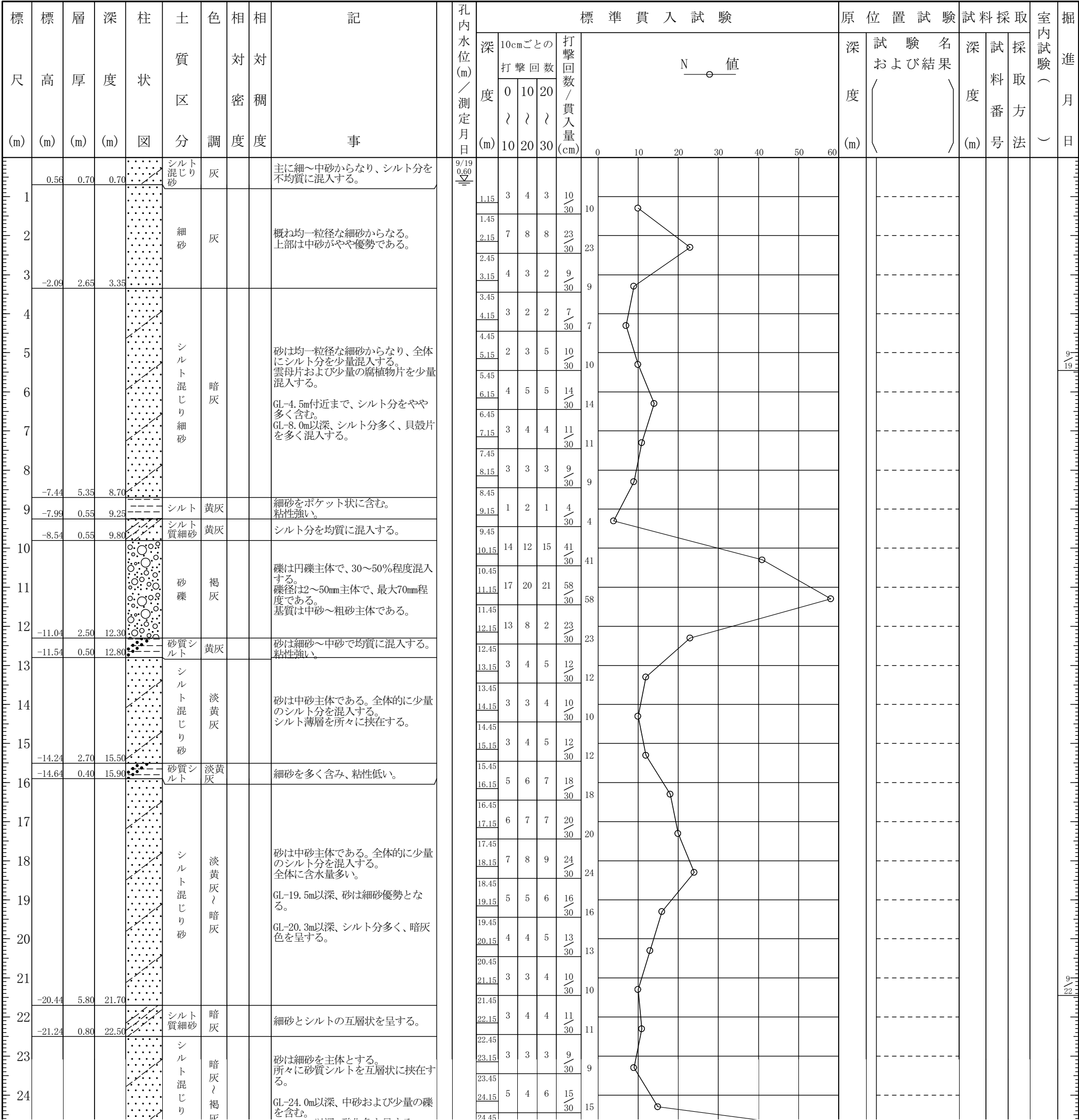
調 査 名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1			調査位置		松阪市曽原町地内					北緯	34° 37' 26.34"		
発注機関	松阪市都市整備部営繕課					調査期間	平成 27年 9月 1日 ~ 27年 10月 30日					東経	136° 30' 58.63"	
調査業者名	松阪鑿泉株式会社 電話 (0 5 9 8 - 2 1 - 4 8 3 7)			主任技師	由井 恒彦		現代理人	手塚 大貴	コア鑑定者	手塚 大貴	ボーリング責任者	西脇 正利		
孔口標高	GH= 1.26m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機	ワイビーエム YBM-05 DA-2	ハンマー落下用具	半自動落下		
総掘進長	32.45m								エンジン	ヤンマー NFD-9	ポンプ	ワイビーエム GP-5		



24				混じり細砂	褐灰		GL-24.0m以深、中砂および少量の礫を含む。
25	-24.04	2.80	25.30	砂礫	褐灰		GL-25.0m以深、酸化色を呈する。
26	-24.54	0.50	25.80	礫混じり粗砂	淡褐灰		主にφ5~30mm、最大50mm程度の円礫を混入する。
27	-25.74	1.20	27.00	砂	淡褐灰		砂は粗砂主体で、風化礫由来の細粒分を含む。
28	-27.44	1.70	28.70	砂礫	淡褐灰		礫は円礫主体で、主にφ5~30mm、最大60mm程度である。 礫混入率は30~50%、基質は粗砂～中砂主体。
29	-28.74	1.30	30.00	礫混じり砂	淡褐灰		砂は細砂～中砂主体で、風化礫由来の細粒分を含む。 礫は概ねφ30mm程度以下主体。
30	-29.44	0.70	30.70	砂	淡褐灰		礫は円礫主体で、主にφ5~30mm、最大60mm程度である。 礫は30~50%程度混入、基質は中砂主体。
31	-31.19	1.75	32.45	礫混じり砂	淡褐灰		砂は細砂～中砂主体で、φ10~50mm程度の礫を少量混入する。 風化礫由来の細粒分を少量含む。
32							

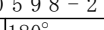
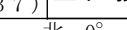
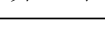
ボーリング柱状図

調 査 名	北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託
-------	---------------------------

[illegible]

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 2			調査位置		松阪市曽原町地内						北緯	34° 37' 26.25"			
発注機関	松阪市都市整備部営繕課					調査期間		平成 27年 9月 1日 ~ 27年 10月 30日				東経	136° 31' 01.76"			
調査業者名	松阪鑿泉株式会社 電話 (0598-21-4837)			主任技師		由井 恒彦		現場代理人		手塚 大貴 コア鑑定者		手塚 大貴		ボーリング責任者	西脇 正利	
孔口標高	GH=1.20m	角  度	方  向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配  鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機		ワイビーエム YBM-05 DA-2			ハンマー落下用具		半自動落下		
総掘進長	29.37m						エンジン		ヤンマー NFD-9			ポンプ		ワイビーエム GP-5		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相對 密度	相對 稠度	記 事	孔内 水位 (m)／ 測定月 日	標準貫入試験						原位置試験		試料採取			室内 試験 (掘進 月日
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃 回数 ／ 貫入 量 (cm)	深 度 (m)	試 験 名 お よ び 結 果 ((m)	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法		
												0	10	20								
												〃	〃	〃								
		0.20	1.00	1.00		シルト 混じり 砂	灰		上部はシルト分を不均質に混入。 砂は細砂～中砂である。	9/10 0.64 ▽	1.15	1	2	1	4 30	4						
1	-0.60	0.80	1.80		砂	淡灰			概ね均一粒径な細砂～中砂からなる。		1.45											
2					シルト 混じり 細砂	暗灰			概ね均一粒径な細砂からなり、全体 にシルト分を少量含む。 腐植物片および雲母片を少量混入する。 GL-7.0m付近以深、シルト分の混入 多く、貝殻片を含む。		2.15	3	4	4	11 30	11						
3											2.45											
4											3.15	2	2	3	7 30	7						
5											3.45											
6											4.15	3	4	4	11 30	11						
7											4.45											
8											5.15	4	6	6	16 30	16						
9	-7.70	7.10	8.90		砂質 シルト	暗灰			細砂とシルトの互層状を呈する。粘 性強い。		5.45											
	-8.15	0.45	9.35								6.15	4	6	6	16 30	16						
10					砂 礫	褐灰			礫は円礫主体で、30～50%程度混入 する。 礫径は2～50mm主体で、最大80mm程 度である。 基質は中砂～粗砂主体である。		6.45											
11											7.15	2	3	3	8 30	8						
12											7.45											
13	-12.05	3.90	13.25		シルト 質砂	黄灰			砂は細砂～中砂からなる。全体にシル ト分を多く混入する。		8.15	3	4	5	12 30	12						
14	-12.70	0.65	13.90		シルト 質細砂	暗灰			シルトと細砂の互層状を呈する。 雲母片を混入する。		8.45											
15											9.15	2	1	13	16 30	16						
16					細 砂	灰 、 淡 黄 灰			全体的にシルト分を少量混入する。		9.45											
17	-15.95	2.35	17.15		シルト 質細砂	暗灰			均一な細砂を主体とし、シルト薄層 を互層状に挟む。		10.15	8	9	9	26 30	26						
18	-16.50	0.55	17.70		シルト 混じり 砂	淡 黄 灰 、 暗 灰			層の上部は中砂～粗砂を主体とする。 全体にシルト分を混入する。 GL-19.0m以深、細砂優勢となる。 GL-20m以深、暗灰色を呈し、所々に シルト薄層を挟む。		10.45											
19											11.15	11	12	28	51 30	51						
20											12.15	23	24	13 7	60 27	67						
21	-20.40	3.90	21.60		砂質 シルト	暗灰			貝殻片を少量混入する。 所々に細砂をポケット状に含む。		12.42											
22	-21.30	0.90	22.50		シルト 質細砂	暗灰			シルト混じり細砂とシルトの互層状 を呈する。 雲母片を混入する。 下部は中砂優勢となる。		13.15	11	4	3	18 30	18						
23											13.45											
24	-23.00	1.70	24.20								14.15	3	5	7	15 30	15						
											14.45											
											15.15	3	7	9	19 30	19						
											15.45											
											16.15	3	4	4	11 30	11						
											16.45											
											17.15	3	3	4	10 30	10						
											17.45											
											18.15	7	8	8	23 30	23						
											18.45											
											19.15	4	5	6	15 30	15						
											19.45											
											20.15	6	7	9	22 30	22						
											20.45											
											21.15	7	8	9	24 30	24						
											21.45											
											22.15	2	3	3	8 30	8						
											22.45											
											23.15	3	3	2	8 30	8						
											23.45											
											24.15	23	37 9	60 19	95							
											24.34											

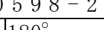
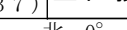
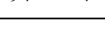
ボーリング柱状図

調 査 名	北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託
-------	---------------------------

[illegible]

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 3			調査位置		松阪市曽原町地内						北緯	34° 37' 25.69"			
発注機関	松阪市都市整備部営繕課					調査期間		平成 27年 9月 1日 ~ 27年 10月 30日				東経	136° 30' 59.76"			
調査業者名	松阪鑿泉株式会社 電話 (0598-21-4837)			主任技師		由井 恒彦		現場代理人		手塚 大貴 コア鑑定者		手塚 大貴		ボーリング責任者	西脇 正利	
孔口標高	GH=1.32m	角  度	方  向	地盤勾配  使用機種	試錐機		ワイビーエム YBM-05 DA-2				ハンマー 落下用具		半自動落下			
総掘進長	33.42m				エンジン		ヤンマー NFD-9				ポンプ		ワイビーエム GP-5			

[illegible]

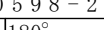
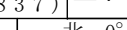
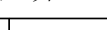
ボーリング柱状図

調 査 名	北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託
-------	---------------------------

[illegible]

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 4		調査位置		松阪市曽原町地内						北緯	34° 37' 24.52"		
発注機関	松阪市都市整備部営繕課					調査期間	平成 27年 9月 1日 ~ 27年 10月 30日					東経	136° 30' 58.39"	
調査業者名	松阪鑿泉株式会社 電話 (0598-21-4837)		主任技師	由井 恒彦		現場代理人	手塚 大貴	コア鑑定者	手塚 大貴	ボーリング責任者	山田 憲志			
孔口標高	GH=1.34m	角  度	方  向	地盤勾配  鉛直	使用機種	試錐機	ワイビーエム YBM-05-D			ハンマー落下用具	半自動落下			
総掘進長	29.44m					エンジン	ヤンマー NFD-9			ポンプ	カノー V-4			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相對 密度	相對 稠度	記 事	孔内 水位 (m)／ 測定月日	標準貫入試験						原位試験		試験採取			室内 試験 (掘進 月日			
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃 回数 ／ 貫入 量 (cm)	深 度 (m)	試 験 名 および結果 ((m)	深 度 (m)	試料 番号	採取 方法					
												0 ／ 10	10 ／ 20	20 ／ 30											
																					N 値 ○				
												0 10 20 30 40 50 60													
1	1.04	0.30	0.30		礫混じり砂 シルト質砂	淡灰			主に細砂～粗砂からなる。 10mm程度以下の礫を混入する。 細砂を主体とする。	9/23 0.65	1.15	3	2	3	8 ／ 30	8	○	2.78	孔内水平載荷試験 E=3.13kN/m ²						
	0.44	0.60	0.90			暗褐					2.15	2	3	5	10 ／ 30								10	○	3.23
	-0.46	0.90	1.80			砂	灰					2.45	2	3	4										
2				シルト混じり細砂	暗灰			細砂主体で、所により中砂を含む。 全体に少量の腐植物および雲母片を混入する。			3.15	2	3	4	9 ／ 30	11	○								
											3.45	3	3	5	11 ／ 30							13	○		
											4.15	3	3	5	11 ／ 30									15	○
3				シルト混じり細砂	暗灰			GL-7.90m付近までシルト分優勢で、 貝殻片を多く含む。 砂は細砂を主体とする。 全体的に腐植物を多く含む。			4.45	4	5	4	13 ／ 30	17	○								
											5.15	4	5	4	13 ／ 30							19	○		
											5.45	5	4	6	15 ／ 30									21	○
4				シルト質細砂	暗灰			粘性の強いシルトからなり、細砂を混入する。 貝殻片を少量含み、細砂の薄層を挟む。			6.15	2	2	2	6 ／ 30	23	○								
											6.45	3	3	4	10 ／ 30							25	○		
											7.15	3	3	4	10 ／ 30									27	○
5				砂質シルト	淡黄灰			礫は円礫主体で、30～50%程度混入する。 礫径は2～25mm主体で、最大50mm程度である。 基質は中砂～粗砂主体である。 GL-12.45～13.0m付近、礫分少なく粗砂主体となる。 GL-13.0m以深、強い酸化色を呈する。			8.15	1	1	2	4 ／ 30	29	○								
											8.45	9	9	12	30 ／ 30							31	○		
											9.15	9	9	12	30 ／ 30									33	○
6				砂礫	淡黄褐～褐			中砂～粗砂を主体とし、シルト分を少量混入する。 径15mm程度以下の礫が点在する。			9.45	7	4	9	20 ／ 30	35	○								
											10.15	13	13	10	36 ／ 30							37	○		
											10.45	13	13	10	36 ／ 30									39	○
7				シルト質細砂	暗灰			砂は中砂～粗砂である。 全体にシルト分を少量混入する。 GL-12.45～13.0m付近、礫分少なく粗砂主体となる。 GL-13.0m以深、強い酸化色を呈する。			11.15	38	22 ／ 2	60 ／ 12	41	○									
											11.45	5	5	6							16 ／ 30	43	○		
											12.15	3	4	6							13 ／ 30			45	○
8				シルト混じり砂	黄褐			砂は中砂～粗砂である。 全体にシルト分を少量混入する。 径15mm程度以下の礫が点在する。			12.45	5	5	6	16 ／ 30	47	○								
											13.15	3	4	6	13 ／ 30							49	○		
											13.27	3	4	6	13 ／ 30									51	○
9				砂質シルト	淡褐			細砂の薄層を挟み、互層状を呈する。 粘性強い。			14.15	5	3	4	12 ／ 30	53	○								
											14.45	8	10	14	32 ／ 30							55	○		
											15.15	9	10	10	29 ／ 30									57	○
10				シルト質細砂	暗灰			砂は中砂～粗砂である。 全体にシルト分を少量混入する。 GL-12.45～13.0m付近、礫分少なく粗砂主体となる。 GL-13.0m以深、強い酸化色を呈する。			16.15	6	9	10	25 ／ 30	59	○								
											16														

24	-22.86	0.90	24.20	混じり砂	灰		少量のシルト分および20mm程度以下の礫を混入する。	24.15	32	28	60	164							9
								24.26			11								24
25								25.15	22	33	5	82							
								25.37			2								
26								26.15	43	17	60	120							
								26.30			15								
27								27.15	20	40	60	90							
								27.35			20								
28								28.15	32	28	60	100							
								28.33			18								
29								29.15	17	17	26	62							9
								29.44			9								25

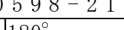
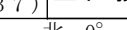
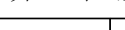
ボーリング柱状図

調 査 名	北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託
-------	---------------------------

[illegible]

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 5			調査位置		松阪市曽原町地内					北緯	34° 37' 24.35"		
発注機関	松阪市都市整備部営繕課					調査期間	平成 27年 9月 1日 ~ 27年 10月 30日					東経	136° 31' 01.11"	
調査業者名	松阪鑿泉株式会社 電話 (0598-21-4837)			主任技師	由井 恒彦		現場代理人	手塚 大貴	コ 鑑 定 者	手塚 大貴	ボーリング責任者	青山 錠市		
孔口標高	GH=1.24m	角 	方 向		地盤勾配 	使用機種	試錐機	ワイビーエム YBM-05		ハンマー 落下用具	半自動落下			
総掘進長	30.45m						度	向	配	種	エンジン	ヤンマー NFD-7		ポンプ

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 (m)／ 測 定 月 日	標 準 貫 入 試 験						原 位 置 試 験		試 料 採 取			掘 進 月 日
											深 度 (m)	10cmごとの 打 撃 回 数			打 撃 回 数 ／ 貫 入 量 (cm)	深 度 (m)	試 験 名 お よ び 結 果	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法		
												0 ＼ 10	10 ＼ 20	20 ＼ 30								
												N 値										
1	0.54	0.70	0.70		シルト混じり砂	褐灰			上部25cm程度は碎石主体。以深、主に細砂～中砂からなり、シルト分を不均質に混入。	9.15	3	3	3	9/30	9							
2	-0.56	1.10	1.80		砂	淡黄灰			均一粒径な中砂からなる。含水量多い。	1.15												
3					シルト混じり細砂	暗灰			GL-3.0m付近はシルト分多い。雲母片を混入する。腐植物を少量混入する。	1.45					10							
4					細砂					2.15	2/12	3	6	11/32								
5					細砂	暗灰			均一粒径な細砂からなる。所々にシルト薄層を挟む。雲母片を混入する。腐植物片および貝殻片を少量混入する。	2.47												
6					細砂	暗灰				3.15	2/13	3	3	8/33	7							
7					細砂					3.48												
8					シルト混じり細砂	暗灰			砂は細砂を主体とする。腐植物片および貝殻片を少量混入する。下部に少量礫を混入する。	4.15	4	5	5	14/30	14							
9					シルト混じり細砂	暗灰				4.45												
10					シルト混じり細砂	暗灰				5.15	5	6	7	18/30	18							
11					シルト混じり細砂	暗灰				5.45												
12					シルト混じり細砂	暗灰				6.15	6	7	8	21/30	21							
13					シルト混じり細砂	暗灰				6.45												
14					シルト混じり細砂	暗灰				7.15	3	3	4	10/30	10							
15					シルト混じり細砂	暗灰				7.45												
16					シルト混じり細砂	暗灰				8.15	2	3	4	9/30	9							
17					シルト混じり細砂	暗灰				8.45												
18					シルト混じり細砂	暗灰				9.15	2/13	2	3	7/33	6							
19					砂礫	淡褐灰			礫は円礫主体で、30～50%程度混入する。礫径は2～50mm主体で、最大80mm程度である。基質は中砂～粗砂主体である。	9.48												
20					砂礫	淡褐灰				10.15	35	25/7		60/17	106							
21					砂礫	淡褐灰				10.32												
22					砂礫	淡褐灰				11.15	15	22	23/8	60/28	64							
23					砂礫	淡褐灰				11.43												
24					砂礫	淡褐灰				12.15	40	20/4		60/14	129							
25					砂礫	淡褐灰				12.29												
26					シルト混じり砂	褐灰			層の上部はシルト分が多い。砂は中砂～粗砂主体である。全体に含水量多い。GL-13.0m付近、GL-18.0m付近、シルト分多い。GL-17.0m以深、礫を少量混入する。	13.15	4	6	6	16/30	16							
27					シルト混じり砂	褐灰				13.45												
28					シルト混じり砂	褐灰				14.15	4	5	5	14/30	14							
29					シルト混じり砂	褐灰				14.45												
30					シルト混じり砂	褐灰				15.15	5	5	6	16/30	16							
31					シルト混じり砂	褐灰				15.45												
32					シルト混じり砂	褐灰				16.15	5	5	6	16/30	16							
33					シルト混じり砂	褐灰				16.45												
34					シルト混じり砂	褐灰				17.15	11	12	13	36/30	36							
35					シルト混じり砂	褐灰				17.45												
36					シルト混じり砂	褐灰				18.15	5	6	8	19/30	19							
37					シルト混じり砂	褐灰				18.45												
38					シルト混じり砂	褐灰				19.15	5	7	9	21/30	21							
39					シルト混じり砂	褐灰				19.45												
40					シルト混じり砂	褐灰				20.15	5	8	9	22/30	22							
41					シルト混じり砂	褐灰				20.45												
42					シルト混じり砂	褐灰				21.15	3	4	4	11/30	11							
43					シルト混じり砂	褐灰				21.45												
44					シルト混じり砂	褐灰				22.15	4	5	5	14/30	14							
45					シルト混じり砂	褐灰				22.45												
46					シルト混じり砂	褐灰				23.15	4	4	5	13/30	13							
47					シルト混じり砂	褐灰				23.45												
48					シルト混じり砂	褐灰				24.15	5	6	10	21/30	21							
49					シルト混じり砂	褐灰				24.45												

孔内水平載荷試験データシート

孔内水平載荷試験

調査件名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託
 地点番号 No. 4(別孔)

試験年月日 2015/9/28
 試験者 秋永 昇久

測定深さ GL- 3.00 m

孔内水位 GL- 0.65 m

土質名 シルト混じり砂

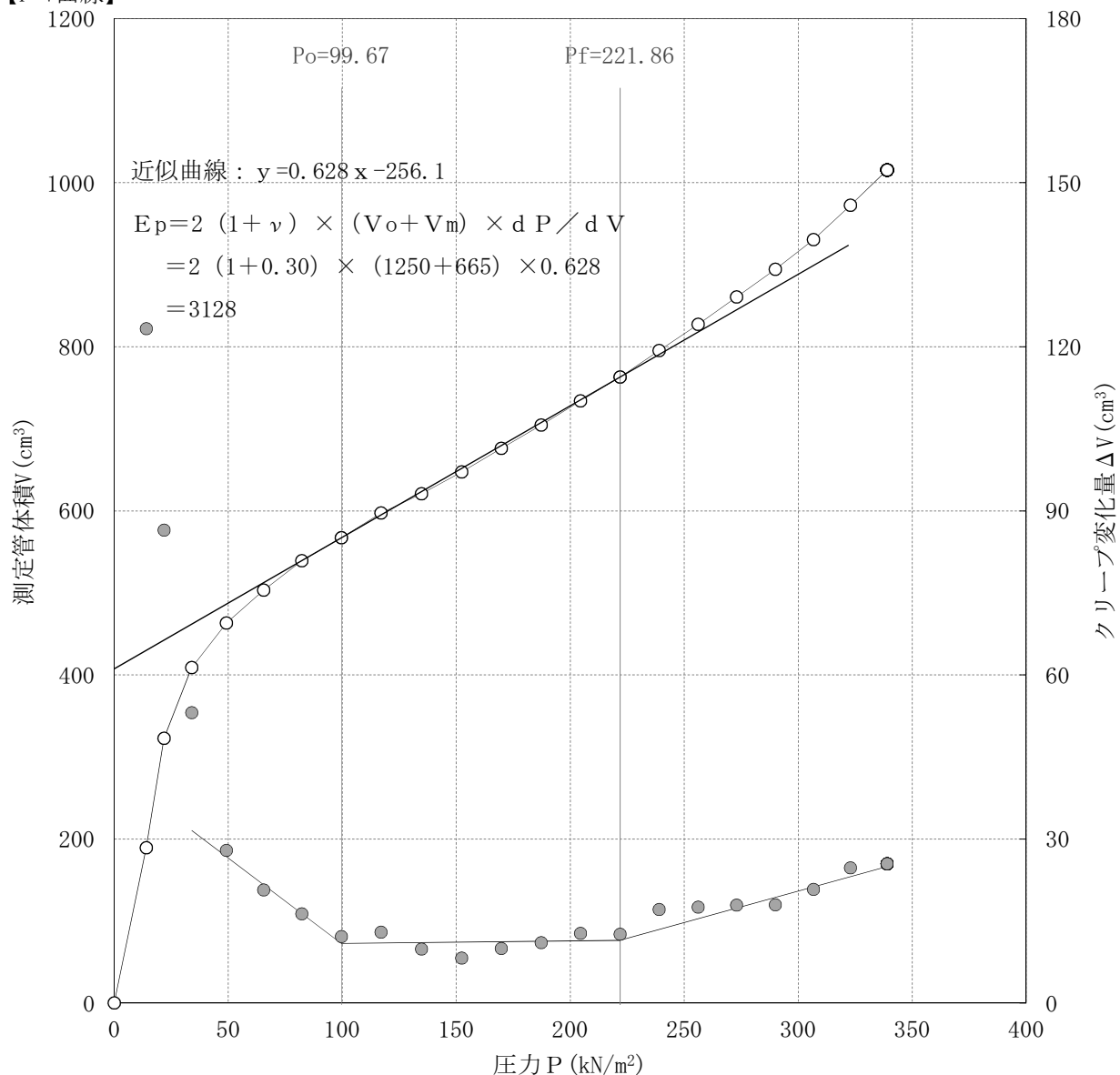
測定器名 PM-5MW

その他

圧力計高さ GL+ 0.50 m

初期圧力 P_o (kN/m ²)	降伏圧力 P_y (kN/m ²)	極限圧力 P_L (kN/m ²)	変形係数 E (kN/m ²)
99.67	221.86		3128

【P-V曲線】



特記事項

ν : ポアソン比 (=0.30)
 P_o : 初期圧力 V_o : 初期体積 (=1250)
 P_f : 降伏圧力 V_m : 注入水量
 dP/dV : P-V曲線の直線区間の傾き

室内土質試験データシート

土質試験結果一覧表

調査件名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

整理年月日

平成 27年 10月 21日

整理担当者

加藤 雅也

試料番号 (深 さ)		3P-4 (4.15～4.45m)	3P-9 (9.15～9.48m)	3P-12 (12.15～12.45m)	3P-14 (14.15～14.45m)	3P-17 (17.15～17.45m)	3P-22 (22.15～22.45m)
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³						
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³						
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.752	2.751	2.669	2.684	2.663	2.717
	自然含水比 w_n %	31.7	49.1	9.9	24.5	16.0	30.9
	間隙比 e						
	飽和度 S_r %						
粒度	石分 (75mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2～75mm) %	0.0	0.0	45.2	3.3	4.1	0.6
	砂分 ¹⁾ (0.075～2mm) %	79.1	6.8	41.8	56.2	83.5	34.1
	シルト分 ¹⁾ (0.005～0.075mm) %	11.7	34.0	6.0	17.2	5.6	44.2
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	9.2	59.2	7.0	23.3	6.8	21.1
	最大粒径 mm	2	0.850	37.5	4.75	4.75	4.75
	均等係数 U_c	22.6	—	103	—	33.7	—
	50% 粒径 D_{50} mm	0.1426	0.0028	1.4649	0.2076	0.6189	0.0446
	20% 粒径 D_{20} mm	0.0713		0.1879	0.0012	0.1860	0.0043
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %		47.9		45.7		41.6
	塑性限界 w_p %		24.5		20.4		23.4
	塑性指数 I_p		23.4		25.3		18.2
分類	地盤材料の分類名	細粒分質砂	砂まじり粘土 (低液性限界)	細粒分まじり 砂質礫	細粒分質砂	細粒分まじり砂	砂質粘土 (低液性限界)
	分類記号	(SF)	(CL-S)	(GS-F)	(SF)	(S-F)	(CLS)
圧密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
せん断	試験条件						
	全応力 c kN/m ²						
	ϕ °						
	有効応力 c' kN/m ²						
	ϕ' °						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

土 質 試 験 結 果 一 覧 表

調査件名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

整理年月日

平成 27年 10月 21日

整理担当者

加藤 雅也

試 料 番 号 (深 さ)		3P-26 (26.15~26.45m)					
一 般	湿 潤 密 度 ρ_t g/cm ³						
	乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³						
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.676					
	自然含水比 w_n %	9.7					
	間 隙 比 e						
	飽 和 度 S_r %						
粒 度	石 分 (75mm以上) %						
	礫 分 ¹⁾ (2~75mm) %	38.2					
	砂 分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	48.7					
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	6.2					
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	6.9					
	最 大 粒 径 mm	37.5					
	均 等 係 数 U_c	62.5					
	50 % 粒 径 D_{50} mm	0.9454					
	20 % 粒 径 D_{20} mm	0.1512					
コン シ ス テ ン シー 特 性	液 性 限 界 w_L %						
	塑 性 限 界 w_p %						
	塑 性 指 数 I_p						
分 類	地盤材料の	細粒分まじり					
	分 類 名	礫質砂					
	分 類 記 号	(SG-F)					
圧 密	試 験 方 法						
	圧 縮 指 数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一 軸 圧 縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
せ ん 断	試 験 条 件						
	全 応 力 c kN/m ²						
	ϕ °						
	有効応力 c' kN/m ²						
	ϕ' °						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料
に対する百分率で表す。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

JIS A 1202 JGS 0111	土 粒 子 の 密 度 試 験 (測定)	
------------------------	----------------------	--

調査件名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託 試験年月日 平成 27年 10月 19日

試 験 者 石原 聖子

試 料 番 号 (深 さ)		3P-4 (4.15～4.45m)			3P-9 (9.15～9.48m)		
ピ ク ノ メ ー タ ー No.		343	344	345	346	347	348
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g		132.169	139.837	130.463	131.821	133.431	138.476
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C		21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³		0.99788	0.99788	0.99788	0.99788	0.99788	0.99788
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_a g		120.376	123.064	120.787	119.912	118.305	126.319
試 料 の 炉 乾 燥 質 量	容 器 No.	A343	A344	A345	A346	A347	A348
	(炉乾燥試料+容器)質量g	80.869	89.684	77.782	80.859	86.354	85.585
	容 器 質 量 g	62.389	63.346	62.596	62.160	62.617	66.520
	m_s g	18.480	26.338	15.186	18.699	23.737	19.065
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³		2.758	2.748	2.750	2.748	2.751	2.754
平 均 値 ρ_s g/cm ³		2.752			2.751		
試 料 番 号 (深 さ)		3P-12 (12.15～12.45m)			3P-14 (14.15～14.45m)		
ピ ク ノ メ ー タ ー No.		349	350	351	352	353	354
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g		135.587	135.559	136.173	135.443	133.064	137.567
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C		21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³		0.99788	0.99788	0.99788	0.99788	0.99788	0.99788
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_a g		120.458	120.568	119.888	120.113	119.905	120.268
試 料 の 炉 乾 燥 質 量	容 器 No.	A349	A350	A351	A352	A353	A354
	(炉乾燥試料+容器)質量g	86.904	87.115	89.177	86.590	83.686	91.200
	容 器 質 量 g	62.726	63.174	63.177	62.174	62.752	63.663
	m_s g	24.178	23.941	26.000	24.416	20.934	27.537
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³		2.666	2.669	2.671	2.682	2.687	2.684
平 均 値 ρ_s g/cm ³		2.669			2.684		
試 料 番 号 (深 さ)		3P-17 (17.15～17.45m)			3P-22 (22.15～22.45m)		
ピ ク ノ メ ー タ ー No.		355	356	357	358	359	360
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g		133.823	135.855	137.525	130.650	131.691	133.014
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C		21.5	21.5	21.5	21.5	21.5	21.5
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³		0.99788	0.99788	0.99788	0.99788	0.99788	0.99788
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_a g		117.601	121.283	122.067	120.338	119.788	120.016
試 料 の 炉 乾 燥 質 量	容 器 No.	A355	A356	A357	A358	A359	A360
	(炉乾燥試料+容器)質量g	89.226	86.478	87.505	79.481	80.758	82.431
	容 器 質 量 g	63.284	63.180	62.770	63.138	61.972	61.911
	m_s g	25.942	23.298	24.735	16.343	18.786	20.520
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³		2.663	2.664	2.661	2.704	2.724	2.722
平 均 値 ρ_s g/cm ³		2.663			2.717		

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + (m_a - m_b)} \times \rho_w(T)$$

JIS A 1202 JGS 0111	土 粒 子 の 密 度 試 験 (測定)	
------------------------	----------------------	--

調査件名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託 試験年月日 平成 27年 10月 19日

試 験 者 石原 聖子

試 料 番 号 (深 さ)		3P-26 (26.15~26.45m)					
ピ ク ノ メ ー タ ー No.		1	2	3			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g		135.268	133.689	132.485			
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C		21.5	21.5	21.5			
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³		0.99788	0.99788	0.99788			
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_a g		118.174	117.962	117.342			
試 料 の 炉 乾 燥 質 量	容 器 No.	A1	A2	A3			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	90.779	88.147	88.015			
	容 器 質 量 g	63.492	63.092	63.873			
	m_s g	27.287	25.055	24.142			
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³		2.671	2.680	2.677			
平 均 値 ρ_s g/cm ³		2.676					
試 料 番 号 (深 さ)							
ピ ク ノ メ ー タ ー No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g							
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C							
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³							
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_a g							
試 料 の 炉 乾 燥 質 量	容 器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容 器 質 量 g						
	m_s g						
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³							
平 均 値 ρ_s g/cm ³							
試 料 番 号 (深 さ)							
ピ ク ノ メ ー タ ー No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 m_b g							
m_b をはかったときの内容物の温度 T °C							
T °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm ³							
温度 T °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 m_a g							
試 料 の 炉 乾 燥 質 量	容 器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容 器 質 量 g						
	m_s g						
土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³							
平 均 値 ρ_s g/cm ³							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + (m_a - m_b)} \times \rho_w(T)$$

J I S A 1 2 0 3 J G S 0 1 2 1	土 の 含 水 比 試 験	
----------------------------------	---------------	--

調査件名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託 試験年月日 平成 27年 10月 16日

試 験 者 石原 聖子

試料番号 (深さ)	3P-4 (4.15～4.45m)			3P-9 (9.15～9.48m)		
容 器 No.	C115	C116	C117	C118	C119	C120
m_a g	61.44	56.51	45.74	47.48	57.82	60.03
m_b g	51.94	47.99	40.10	39.00	46.27	47.48
m_c g	22.21	22.05	21.52	21.69	22.64	22.04
w %	32.0	32.8	30.4	49.0	48.9	49.3
平 均 値 w %	31.7			49.1		
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)	3P-12 (12.15～12.45m)			3P-14 (14.15～14.45m)		
容 器 No.	C121	C122	C123	C124	C125	C126
m_a g	200.53	206.82	201.26	46.12	60.14	62.64
m_b g	184.09	189.08	186.41	41.40	52.83	54.63
m_c g	22.04	22.48	21.33	22.28	22.53	22.34
w %	10.1	10.6	9.0	24.7	24.1	24.8
平 均 値 w %	9.9			24.5		
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)	3P-17 (17.15～17.45m)			3P-22 (22.15～22.45m)		
容 器 No.	C127	C128	C129	C130	C131	C132
m_a g	53.04	60.31	72.57	58.56	52.59	49.04
m_b g	48.79	55.18	65.50	49.98	45.50	42.69
m_c g	22.29	22.92	21.99	21.95	22.77	22.04
w %	16.0	15.9	16.2	30.6	31.2	30.8
平 均 値 w %	16.0			30.9		
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)	3P-26 (26.15～26.45m)					
容 器 No.	C133	C134	C135			
m_a g	216.17	207.39	204.32			
m_b g	198.88	191.71	187.86			
m_c g	21.57	22.12	22.52			
w %	9.8	9.2	10.0			
平 均 値 w %	9.7					
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平 均 値 w %						
特 記 事 項						

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

m_a : (試料+容器)質量
 m_b : (炉乾燥試料+容器)質量
 m_c : 容器質量

調査件名

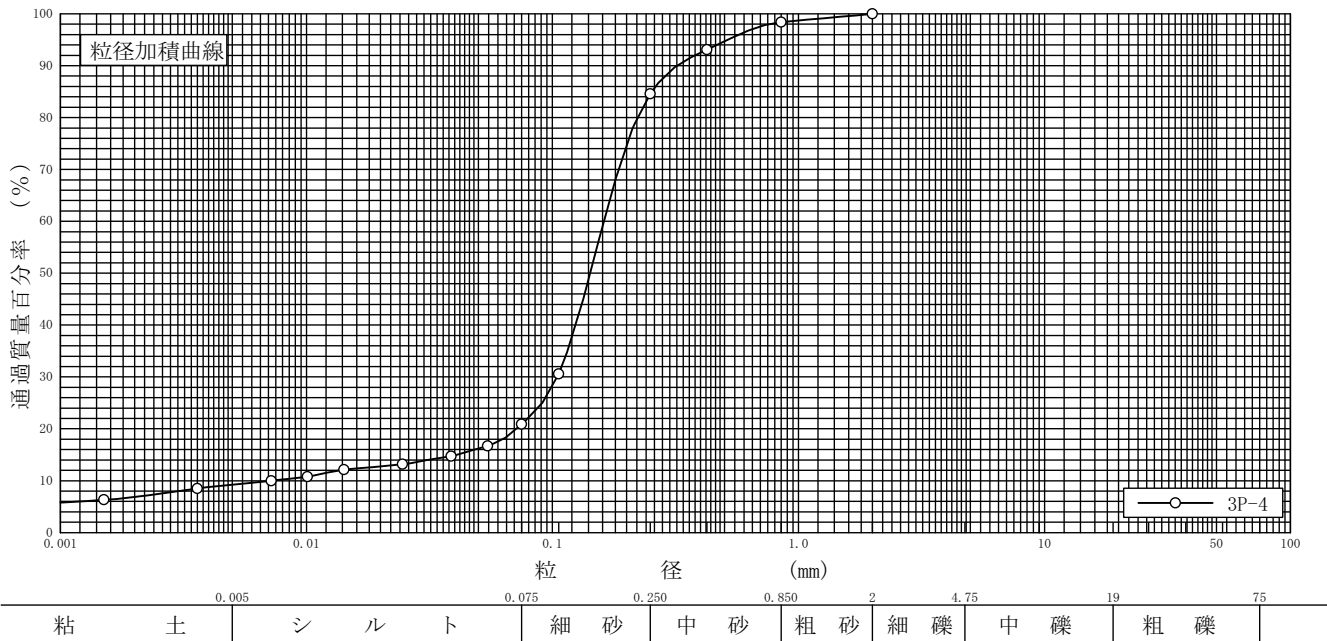
北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日

平成 27年 10月 20日

試験者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	3P-4 (4.15～4.45m)				試 料 番 号 (深 さ)	3P-4 (4.15～4.45m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %	0	
	75		75		中 礫 分 %	0	
	53		53		細 礫 分 %	0	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	1.6	
	26.5		26.5		中 砂 分 %	13.8	
	19		19		細 砂 分 %	63.7	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	11.7	
	4.75		4.75		粘 土 分 %	9.2	
	2	100.0	2		2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	
	0.850	98.4	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	93.1	
	0.425	93.1	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	20.9	
	0.250	84.6	0.250		最 大 粒 径 mm	2	
	0.106	30.6	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	0.1624	
	0.075	20.9	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	0.1426	
沈 降 分 析	0.0545	16.7			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.1044	
	0.0387	14.7			10 % 粒 径 D_{10} mm	0.0072	
	0.0246	13.2			均 等 係 数 U_c	22.6	
	0.0142	12.1			曲 率 係 数 U'_c	9.3	
	0.0101	10.8			土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.752	
	0.0072	10.0			使用した分散剤	ヘキサメチル亜ナトリウム飽和溶液	
	0.0036	8.5			溶液濃度，溶液添加量	20% , 10ml	
	0.0015	6.3			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.0713	



特記事項

調査件名

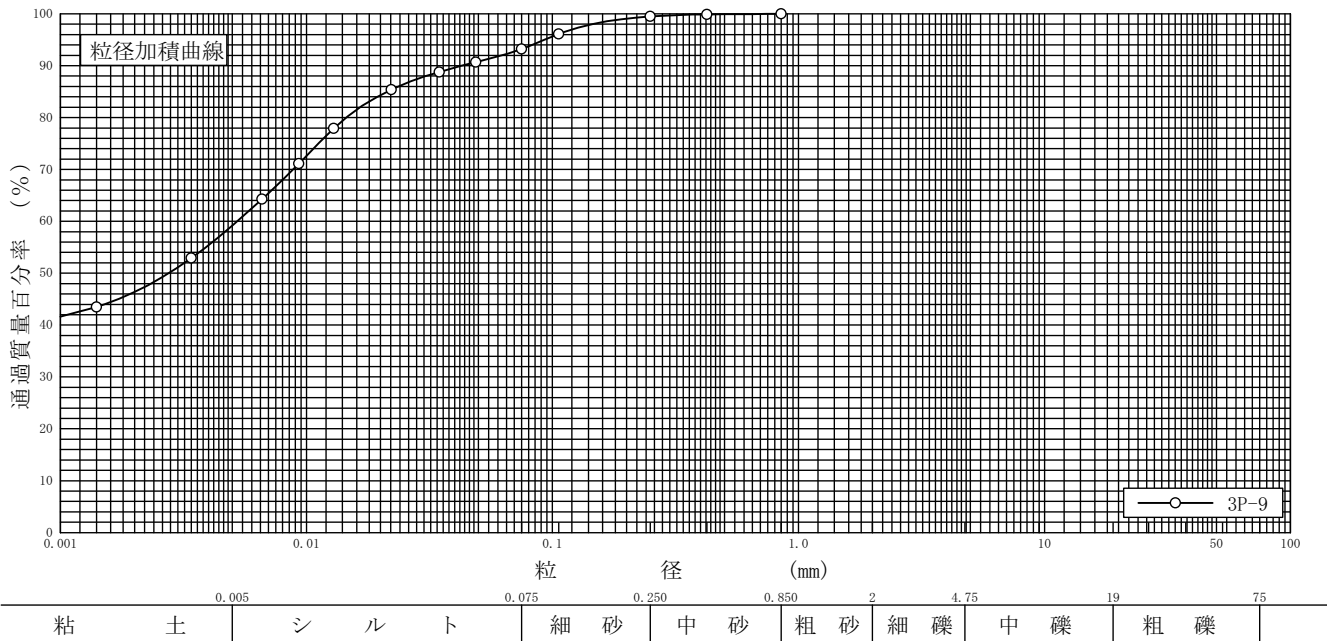
北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日

平成 27年 10月 20日

試験者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	3P-9 (9.15～9.48m)				試 料 番 号 (深 さ)	3P-9 (9.15～9.48m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %	0	
	75		75		中 礫 分 %	0	
	53		53		細 礫 分 %	0	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	0	
	26.5		26.5		中 砂 分 %	0.5	
	19		19		細 砂 分 %	6.3	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	34.0	
	4.75		4.75		粘 土 分 %	59.2	
	2		2		2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	
	0.850	100.0	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	99.9	
	0.425	99.9	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	93.2	
	0.250	99.5	0.250		最 大 粒 径 mm	0.850	
	0.106	96.1	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	0.0052	
	0.075	93.2	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	0.0028	
沈 降 分 析	0.0488	90.7			30 % 粒 径 D_{30} mm	—	
	0.0347	88.8			10 % 粒 径 D_{10} mm	—	
	0.0221	85.4			均 等 係 数 U_c	—	
	0.0129	77.9			曲 率 係 数 U'_c	—	
	0.0093	71.1			土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.751	
	0.0066	64.3			使用した分散剤	ヘキサメチル酸ナトリウム飽和溶液	
	0.0034	52.9			溶液濃度，溶液添加量	20% , 10ml	
	0.0014	43.5			20 % 粒 径 D_{20} mm	—	



特記事項

調査件名

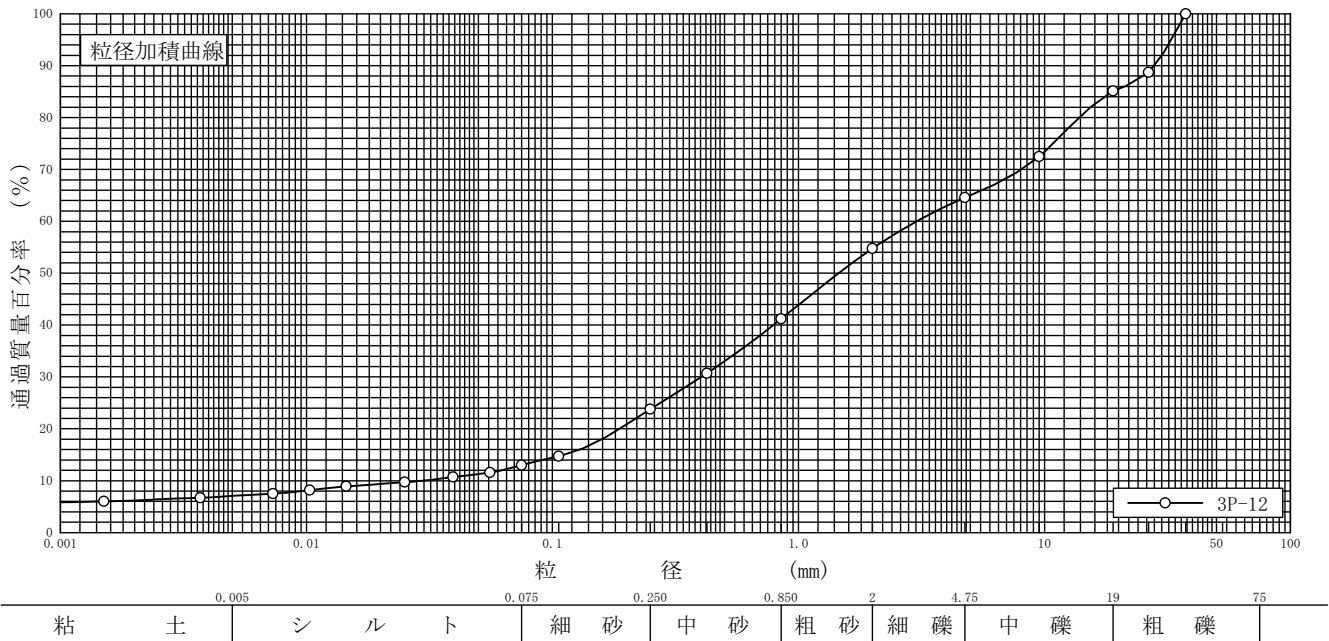
北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日

平成 27年 10月 20日

試験者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	3P-12 (12.15～12.45m)				試 料 番 号 (深 さ)	3P-12 (12.15～12.45m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %	14.9	
	75		75		中 礫 分 %	20.5	
	53		53		細 礫 分 %	9.8	
	37.5	100.0	37.5		粗 砂 分 %	13.6	
	26.5	88.7	26.5		中 砂 分 %	17.4	
	19	85.1	19		細 砂 分 %	10.8	
	9.5	72.5	9.5		シ ル ト 分 %	6.0	
	4.75	64.6	4.75		粘 土 分 %	7.0	
	2	54.8	2		2mmふるい通過質量百分率 %	54.8	
	0.850	41.2	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	30.7	
	0.425	30.7	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	13.0	
	0.250	23.8	0.250		最 大 粒 径 mm	37.5	
	0.106	14.7	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	3.0298	
	0.075	13.0	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	1.4649	
沈 降 分 析	0.0557	11.6			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.4047	
	0.0395	10.7			10 % 粒 径 D_{10} mm	0.0295	
	0.0251	9.7			均 等 係 数 U_c	103	
	0.0145	8.9			曲 率 係 数 U'_c	1.8	
	0.0103	8.2			土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.669	
	0.0073	7.5			使用した分散剤	ヘキサメチル酸ナトリウム飽和溶液	
	0.0037	6.7			溶液濃度，溶液添加量	20% , 10ml	
	0.0015	6.0			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.1879	



特記事項

調査件名

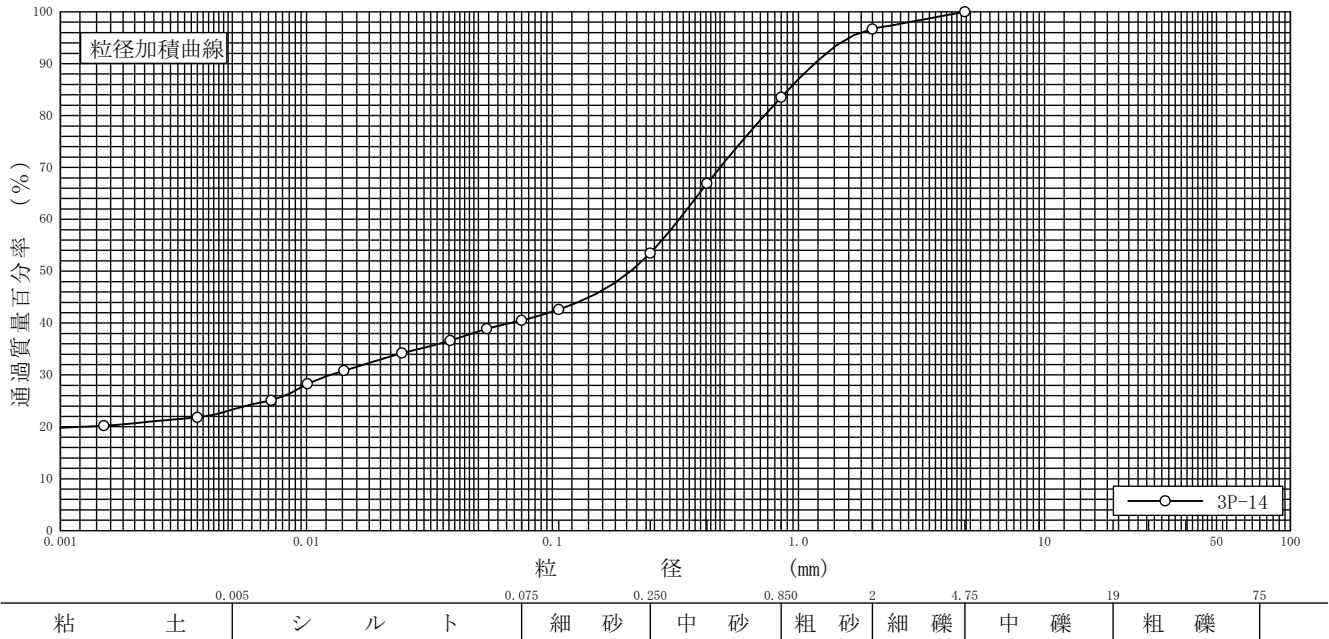
北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日

平成 27年 10月 20日

試験者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	3P-14 (14.15～14.45m)				試 料 番 号 (深 さ)	3P-14 (14.15～14.45m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %	0	
	75		75		中 礫 分 %	0	
	53		53		細 礫 分 %	3.3	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	13.2	
	26.5		26.5		中 砂 分 %	30.0	
	19		19		細 砂 分 %	13.0	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	17.2	
	4.75	100.0	4.75		粘 土 分 %	23.3	
	2	96.7	2		2mmふるい通過質量百分率 %	96.7	
	0.850	83.5	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	66.9	
	0.425	66.9	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	40.5	
	0.250	53.5	0.250		最 大 粒 径 mm	4.75	
	0.106	42.6	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	0.3284	
	0.075	40.5	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	0.2076	
沈 降 分 析	0.0541	38.9			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.0125	
	0.0384	36.6			10 % 粒 径 D_{10} mm	—	
	0.0244	34.2			均 等 係 数 U_c	—	
	0.0142	30.8			曲 率 係 数 U'_c	—	
	0.0101	28.3			土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.684	
	0.0072	25.1			使用した分散剤	ヘキサメタリル酸ナトリウム飽和溶液	
	0.0036	21.8			溶液濃度，溶液添加量	20% , 10ml	
	0.0015	20.2			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.0012	



特記事項

調査件名

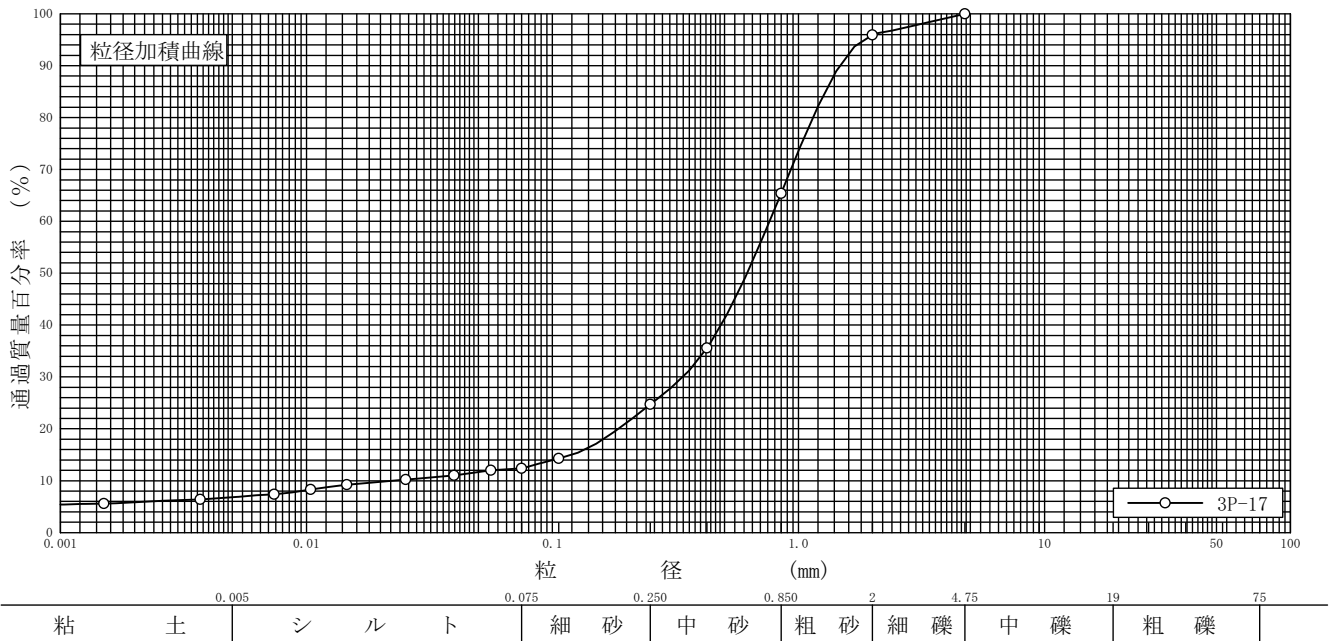
北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日

平成 27年 10月 20日

試験者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	3P-17 (17.15～17.45m)				試 料 番 号 (深 さ)	3P-17 (17.15～17.45m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %	0	
	75		75		中 礫 分 %	0	
	53		53		細 礫 分 %	4.1	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	30.5	
	26.5		26.5		中 砂 分 %	40.7	
	19		19		細 砂 分 %	12.3	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	5.6	
	4.75	100.0	4.75		粘 土 分 %	6.8	
	2	95.9	2		2mmふるい通過質量百分率 %	95.9	
	0.850	65.4	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	35.6	
	0.425	35.6	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	12.4	
	0.250	24.7	0.250		最 大 粒 径 mm	4.75	
	0.106	14.3	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	0.7650	
	0.075	12.4	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	0.6189	
沈 降 分 析	0.0561	12.0			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.3383	
	0.0398	11.0			10 % 粒 径 D_{10} mm	0.0227	
	0.0253	10.2			均 等 係 数 U_c	33.7	
	0.0146	9.2			曲 率 係 数 U'_c	6.6	
	0.0104	8.3			土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.663	
	0.0074	7.4			使用した分散剤	ヘキサメタリル酸ナトリウム飽和溶液	
	0.0037	6.4			溶液濃度，溶液添加量	20% , 10ml	
	0.0015	5.6			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.1860	



特記事項

調査件名

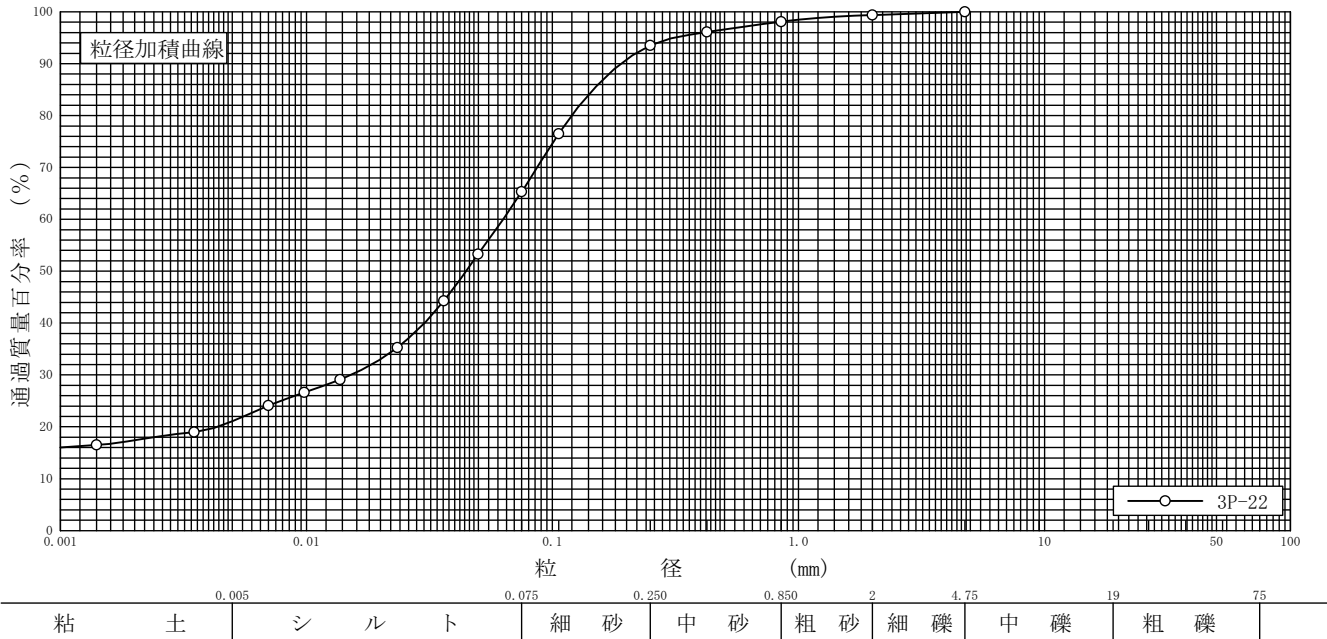
北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日

平成 27年 10月 20日

試験者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	3P-22 (22.15～22.45m)				試 料 番 号 (深 さ)	3P-22 (22.15～22.45m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %	0	
	75		75		中 礫 分 %	0	
	53		53		細 礫 分 %	0.6	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	1.3	
	26.5		26.5		中 砂 分 %	4.6	
	19		19		細 砂 分 %	28.2	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	44.2	
	4.75	100.0	4.75		粘 土 分 %	21.1	
	2	99.4	2		2mmふるい通過質量百分率 %	99.4	
	0.850	98.1	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	96.1	
	0.425	96.1	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	65.3	
	0.250	93.5	0.250		最 大 粒 径 mm	4.75	
	0.106	76.5	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	0.0630	
	0.075	65.3	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	0.0446	
沈 降 分 析	0.0499	53.3			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.0152	
	0.0362	44.3			10 % 粒 径 D_{10} mm	—	
	0.0234	35.3			均 等 係 数 U_c	—	
	0.0137	29.1			曲 率 係 数 U'_c	—	
	0.0098	26.6			土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.717	
	0.0070	24.1			使用した分散剤	ヘキサメタリル酸ナトリウム飽和溶液	
	0.0035	19.0			溶液濃度，溶液添加量	20% , 10ml	
	0.0014	16.5			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.0043	



特記事項

調査件名

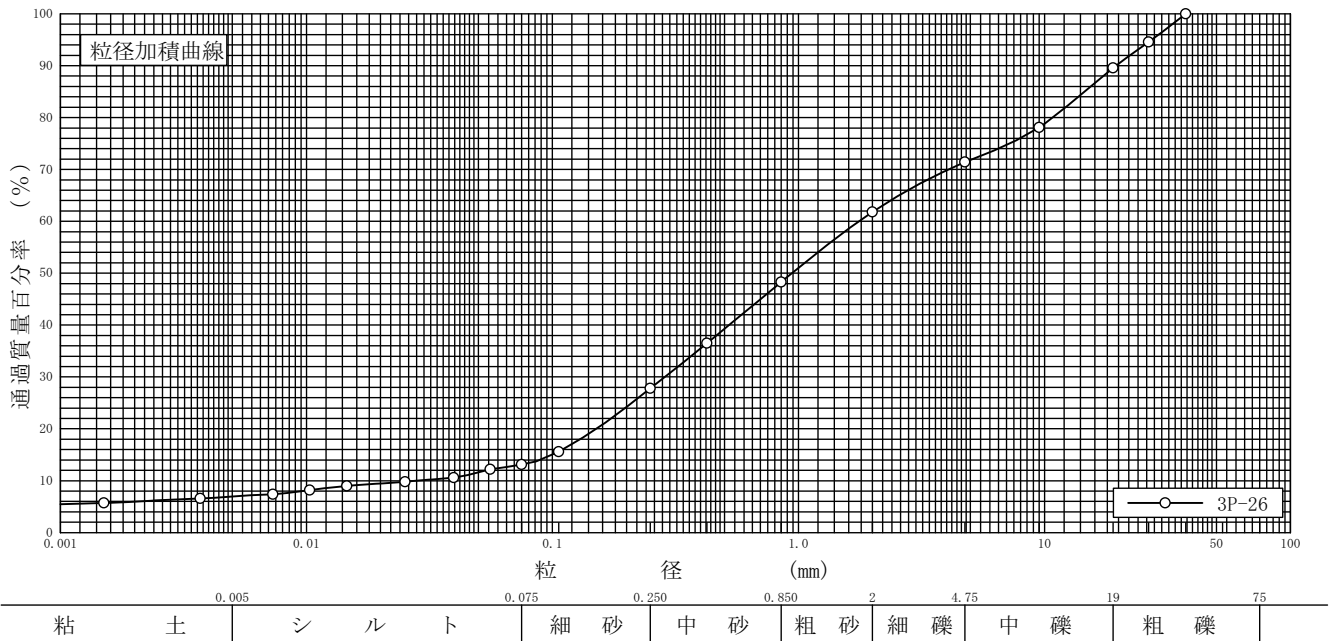
北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日

平成 27年 10月 20日

試験者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	3P-26 (26.15～26.45m)				試 料 番 号 (深 さ)	3P-26 (26.15～26.45m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %	10.4	
	75		75		中 礫 分 %	18.2	
	53		53		細 礫 分 %	9.6	
	37.5	100.0	37.5		粗 砂 分 %	13.5	
	26.5	94.6	26.5		中 砂 分 %	20.5	
	19	89.6	19		細 砂 分 %	14.7	
	9.5	78.1	9.5		シ ル ト 分 %	6.2	
	4.75	71.4	4.75		粘 土 分 %	6.9	
	2	61.8	2		2mmふるい通過質量百分率 %	61.8	
	0.850	48.3	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	36.5	
	0.425	36.5	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	13.1	
	0.250	27.8	0.250		最 大 粒 径 mm	37.5	
	0.106	15.6	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	1.7746	
	0.075	13.1	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	0.9454	
沈 降 分 析	0.0558	12.2			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.2871	
	0.0397	10.6			10 % 粒 径 D_{10} mm	0.0284	
	0.0252	9.8			均 等 係 数 U_c	62.5	
	0.0146	9.0			曲 率 係 数 U'_c	1.6	
	0.0103	8.2			土 粒 子 の 密 度 ρ_s g/cm ³	2.676	
	0.0073	7.4			使用した分散剤	ヘキサメチル酸ナトリウム飽和溶液	
	0.0037	6.6			溶液濃度，溶液添加量	20% , 10ml	
	0.0015	5.7			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.1512	



特記事項

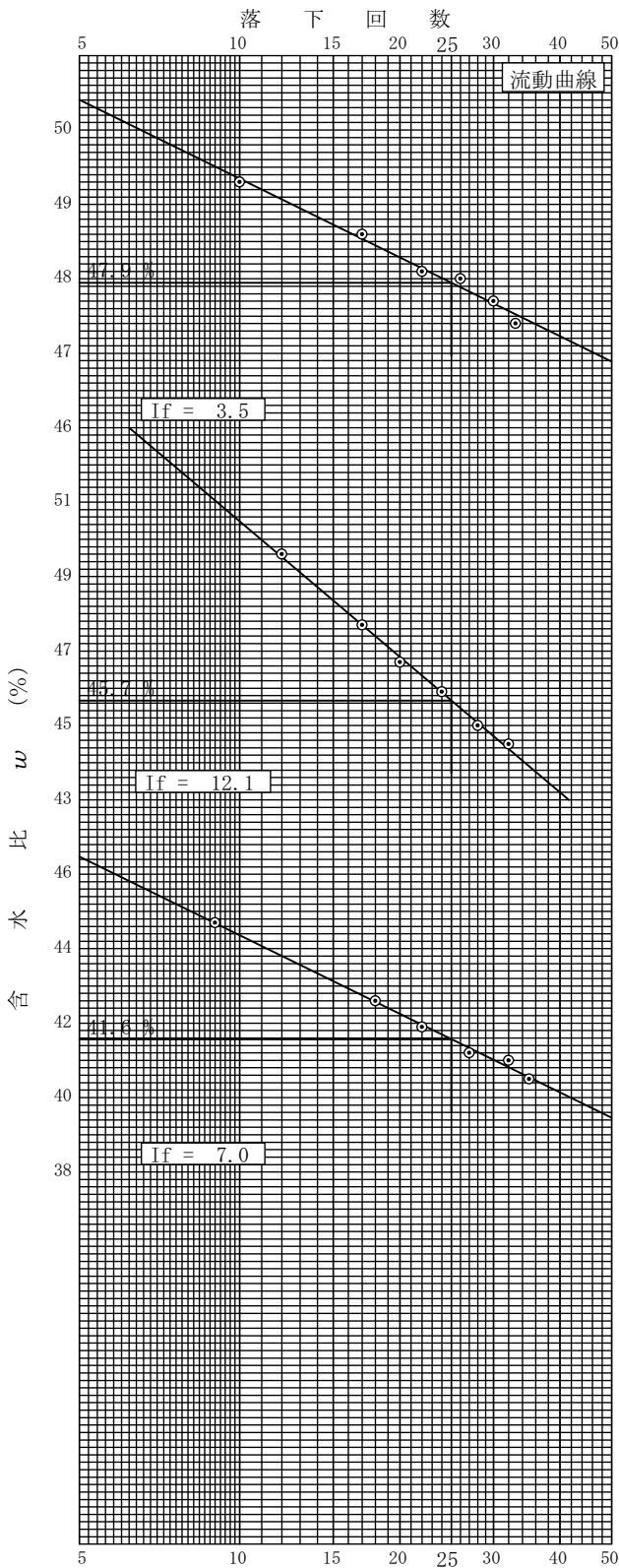
調査件名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日 平成 27年 10月 19日

試験者 石原 聖子

試料番号（深さ） 3P-9（9.15～9.48m）			
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	47.9
33	47.4	25.2	塑性限界 w_p %
30	47.7	24.2	24.5
26	48.0	24.2	塑性指数 I_p
22	48.1		23.4
17	48.6		
10	49.3		
試料番号（深さ） 3P-14（14.15～14.45m）			
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	45.7
32	44.5	20.2	塑性限界 w_p %
28	45.0	20.6	20.4
24	45.9	20.5	塑性指数 I_p
20	46.7		25.3
17	47.7		
12	49.6		
試料番号（深さ） 3P-22（22.15～22.45m）			
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	41.6
35	40.5	23.2	塑性限界 w_p %
32	41.0	23.8	23.4
27	41.2	23.3	塑性指数 I_p
22	41.9		18.2
18	42.6		
9	44.7		
試料番号（深さ）			
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

特記事項

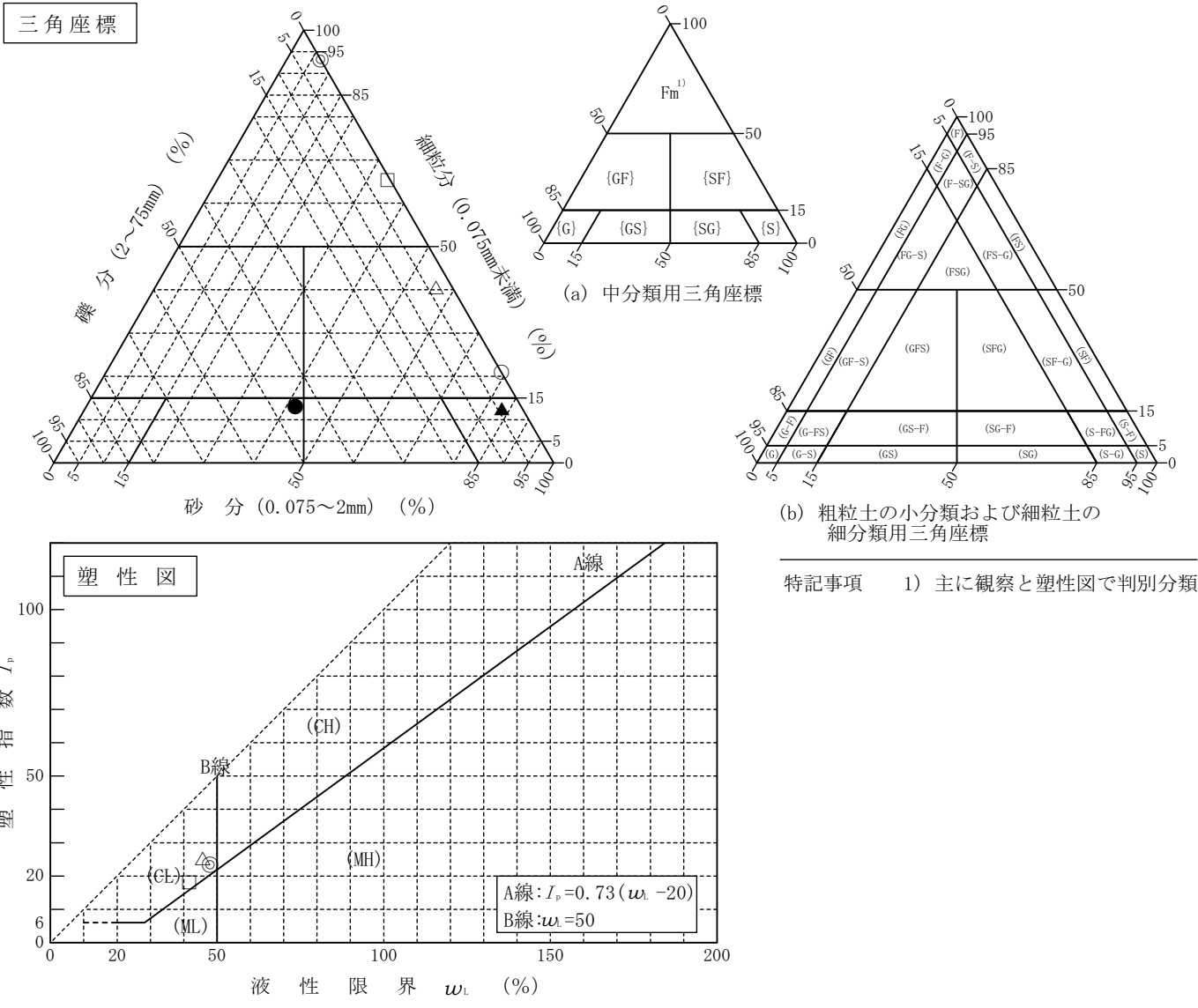


調査件名 北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日 平成 27年 10月 21日

試験者 加藤 雅也

試料番号 (深 さ)	3P-4 (4.15～4.45m)	3P-9 (9.15～9.48m)	3P-12 (12.15～12.45m)	3P-14 (14.15～14.45m)	3P-17 (17.15～17.45m)	3P-22 (22.15～22.45m)
石 分(75mm以上) %						
礫 分(2～75mm) %	0.0	0.0	45.2	3.3	4.1	0.6
砂 分(0.075～2mm) %	79.1	6.8	41.8	56.2	83.5	34.1
細 粒 分(0.075mm未満) %	20.9	93.2	13.0	40.5	12.4	65.3
シルト分(0.005～0.075mm) %	11.7	34.0	6.0	17.2	5.6	44.2
粘土分(0.005mm未満) %	9.2	59.2	7.0	23.3	6.8	21.1
最大粒径 mm	2	0.850	37.5	4.75	4.75	4.75
均等係数 U_c	22.6	-	103	-	33.7	-
液性限界 w_L %		47.9		45.7		41.6
塑性限界 w_p %		24.5		20.4		23.4
塑性指数 I_p		23.4		25.3		18.2
地盤材料の分類名	細粒分質砂	砂まじり粘土 (低液性限界)	細粒分まじり 砂質礫	細粒分質砂	細粒分まじり砂	砂質粘土 (低液性限界)
分類記号	(SF)	(CL-S)	(GS-F)	(SF)	(S-F)	(CLS)
凡例記号	○	◎	●	△	▲	□



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

調査件名

北部学校給食センター建設工事に伴う地質調査業務委託

試験年月日

平成 27年 10月 21日

試験者

加藤 雅也

試料番号 (深 さ)	3P-26 (26.15～26.45m)					
石 分(75mm以上)	%					
礫 分(2～75mm)	%	38.2				
砂 分(0.075～2mm)	%	48.7				
細 粒 分(0.075mm未満)	%	13.1				
シルト分(0.005～0.075mm)	%	6.2				
粘 土 分(0.005mm未満)	%	6.9				
最 大 粒 径	mm	37.5				
均 等 係 数 U_c		62.5				
液 性 限 界 w_L	%					
塑 性 限 界 w_p	%					
塑 性 指 数 I_p						
地盤材料の分類名	細粒分まじり 礫質砂					
分 類 記 号	(SG-F)					
凡 例 記 号	○					

